

仏・露・日における無声映画の音
——初期フランス映画の受容研究

大傍正規

目次

序論

- 第1節 研究の課題と目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 第2節 音研究の批判的再検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

第I部 フランスにおける無声映画の音

- 第1章 フランス初期映画期の映画雑誌に見る映画伴奏音楽の変容・・・・・・・・ 9
- 第2章 フランス・パテ社と蓄音機の音—主題の危機と芸術映画・・・・・・・・ 22

第II部 帝政期ロシアにおける無声映画の音

- 第3章 帝政期ロシアにおける芸術映画の受容—フランス映画のロシア化をめぐって・・・・・・・・ 35
- 第4章 ソビエト映画の出発点—帝政期ロシアにおける初期フランス映画と音の共鳴・・・・・・・・ 52

第III部 日本における無声映画の音

- 第5章 無声映画と蓄音機の音—歌舞音楽と革新的潮流・・・・・・・・・・・・ 66
- 第6章 日本映画伴奏の改善から前衛へ—無声映画期の音響実践におけるプログラム・選曲・伴奏の諸機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
- 補論 届かないメロディ—日独合作映画『新しき土』の映画音楽に見る山田耕筰の理想と現実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100

結論・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117

主要参考文献一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 119

序論

第1節 研究の課題と目的

第一次世界大戦以前に世界各国の映画市場を席卷していたのは、初期のフランス映画であった。1914年以前に刊行された映画雑誌をひもとけば、とりわけフランス・パテ社の映画が繰り返し議論の対象となっており、1904年から1906年頃にかけて、いち早く映画の大量生産と独占的な配給網を確立した同社の動向に、絶えず注目が集まっていたことが理解できる。フランス本国からロンドンのマーケットを経由して次から次へと送り届けられる同社の映画は、世界規模で同じ時期に相次いだ映画常設館の建設ラッシュの火付け役となり、それに伴って新しい映画雑誌も先を争うように刊行された¹。それまで一握りの巡回興行者や、見世物小屋の経営者らが手中におさめていた映画興行を、映画常設館経営者の手に譲り渡したのも、世界的な映画市場の覇権を握ったパテ社であった。つまり、当時の映画興行者の成功は、いかにしてパテ社の映画をいち早く、大量に仕入れることができるかどうかにかかっていたのだ²。

1978年にイギリスのブライトンで開催された国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)の第34回年次大会において、1900年から1906年にかけて撮影された、計548本もの初期映画が上映されたことをきっかけに、1914年以前の初期映画を取りあげた研究が、フィルムアーカイブの研究者や、大学の映画研究者らの注目を集めはじめた³。それにもかかわらず、アメリカの代表的な映画研究者らは当初、初期フランス映画を正面から取り上げることはなかった⁴。じっさい、もはや古典となっていたジョルジュ・サドゥール(Georges Sadoul)の『世界映画史』全六巻や、ジャック・デランド(Jacques Deslandes)とジャック・リシャール(Jacques Richard)による『比較映画史第二巻』(*Histoire comparée du cinéma, Tom. 2, 1968*)のような一般史を乗り越えて、ただ一人リチャード・エイベル(Richard Abel)だけが『初期フランス映画、町を行く—フランス映画1896-1914年』(1994年)において、フランス・パテ社が世界各国の映画製作と配給を独占していた期間は、概ね1904年から1911年にかけてであり、映画のインターナショナルな側面がクローズアップされたその時期に、むしろ「国民映画」(National Cinema)という概念が現実味のあるカテゴリーとして構成されるようになったと指摘していた⁵。換言すれば、アメリカ映画にせよ、帝政ロシア映画にせよ、日本映画にせよ、1914年以前のフランス映画と対峙する中で徐々に形成されたものであり、これらの国々では、自国の映画より、むしろ「外国映画」の方が圧倒的な人気があったのである。もちろん、このような対外的な要因のみならず、アメリカでは移民の流入、革命前のロシアではブルジョワ層とフランス文化との緊密な結びつき、そ

¹ パテ社は1906年6月に、ヴァイタグラフ社と提携したうえで、アメリカで隆盛を極めていた映画雑誌『Views and Film Index』に出資し、同社の有力な宣伝媒体とした(Richard Abel, *The Red Rooster Scare: Making Cinema American, 1900-1910*. Berkeley: University of California Press, 1999: 35)。

² 『Views and Film Index』(1908年2月29日号)の表紙を参照。Quoted in Richard Abel, *The Red Rooster Scare: Making Cinema American, 1900-1910*. Berkeley: University of California Press, 1999: 64.

³ 「ブライトン・プロジェクト」として知られるこのイベントの影響力は、とりわけ1982年以降、イタリアのボルデノーネで開催されている無声映画祭に、あるいは、ペルピニャンのジャン・ヴィゴ・インスティテュートによって組織される映画祭や学術会議に、そして、「ドミツール」(Domitor)と呼ばれる二年に一度開催される初期映画についての国際会議等に波及した。

⁴ 初期映画研究に関するチャールズ・マッサー、トム・ガニング、ミリアム・ハンセン、アイリーン・パウザーらの優れた業績もまた例に漏れない。エイベルは、ノエル・バーチだけが、こうした沈黙を免れた唯一の例外だと述べている(Richard Abel, *The Ciné Goes to Town*, 463)。

⁵ 同書に加え、以下も参照されたい。Richard Abel, "Booming the Film Business: The historical Specificity of Early French Cinema," in *French Cultural Studies*, vol. 1, 1990: 79-94.

して日本では明治期以降の外国文化全般への憧れといった、対内的な要因にも注意を払うべきであろう。そうすることで、フランスの対外政策(帝国主義)と、その他の国々の対内政策(ナショナリズム)とが互いにせめぎあっていたことさえ、明確になるだろう。

こうしたアメリカ人のエイベルによる初期フランス映画研究は、フランス人研究者に、大いに反省を迫ることになった。『テオレマ』(*Théorème*)誌第4号(1996)において「初期映画、フランス人による新たな貢献」特集号をコーディネートした、パリ第三大学のティエリー・ルフェーブ(Thierry Lefebvre)とローラン・マノーニ(Laurent Mannoni)らがまず行ったことは、フランスのいかなる編集者も手をださなかった、エイベルの『フランス映画、最初の波: 1915-1929年』(*French cinema, The first wave, 1915-1929*, 1984)や、『初期フランス映画、町に行く—フランス映画 1896-1914年』の翻訳に、後者の「前書き」だけとはいえ、フランス語に翻訳し、同誌に掲載したことである。

しかしながら、フランス人が1978年以後、自国の初期映画について、関心を示さなかったわけでは決してない。実際、それまでのフランスにおける映画史研究の射程は、1930年代の映画黄金期や、1950-1960年代の映画革新期の周囲を旋回するばかりであったが、ケベック人アンドレ・ゴドロー(André Gaudreault)の後押しをうけ、パリ第三大学の映画学者ミシェル・マリー(Michel Marie)は、1984年にフランスにおける初期映画の再発見に特化した研究グループ「映画史研究フランス人連合」(*l'Association française de recherche sur l'histoire du cinéma*)を立ち上げている⁶。こうした動きは、1985年にフランスのスリジー・ラ・サルで開催された学術会議「映画史への新しいアプローチ」(*Nouvelles approches de l'histoire du cinéma*)を経て、アンドレ・ゴドロー編『フランス人が初期映画に見るもの』(*Ce que je vois de mon ciné, Méridiens Klincksieck*, 1988)のようなまとまった論集の出版に行きつくが、それは『テオレマ』誌第4号の「前書き」において、ミシェル・マリー自身が指摘しているように、アーキビストの関心や、一般の人々にも役立つリファレンスとして役立つとはいえ、むしろ微視的な特徴を持った、いかにも大学的な分析の限界を示してもいた。

さらに、マリーがいみじくも語っていたように、英語圏の研究者とフランス語圏の研究者の関係が脆弱であったために、また、英語圏のアーキビストと研究者の大部分が、フランス語をほとんど理解していなかったために、彼らが、リチャード・エイベルの著作を読みながら、フランス語圏の基本文献であるローラン・マノーニ(Laurent Mannoni)やジャン・ジャック・ムジー(Jean-Jacques Meusy)を読んでいないという、お互いの情報交換がうまくいかない事態が生じてしまっていたことである⁷。

とはいえ、こうした状況にも徐々に変化が見られ、少しずつ次世代の研究者が育ってきている。そのきっかけとなったのは、シネマテーク・フランセーズがその開館以来はじめて、世界中の初期映画研究者が集う国際機関ドミトール(Domitool)の研究集会を招待したことである⁸。それ以外では、パリ郊外のボワダルシーにたたずむフィ

⁶ 1987-1988年頃から、初期映画研究に関する学部教育を行って来たミシェル・マリーは、歴史的な使命感にかられた何人かの学生の知的好奇心を喚起してきた。『テオレマ』誌第4号の巻末には、マリーの学生が執筆した卒業論文、修士論文、博士論文のリストが掲載されている。

⁷ 両者の代表的な著書は以下の通り。Laurent Mannoni, *Le Grand Art de la lumière et de l'ombre*, Nathan, 1999. Jean-Jacques Meusy, *Paris-Palaces ou le temps des cinémas(1894-1918)*. CNRS Éditions, Paris, 1995.

⁸ フランスのシネマテーク・フランセーズで開催された第四回ドミトール(1996)の研究テーマは、「パテ社(1896-1914)」であった。"La Firme Pathé Frères (1896-1914)" dans 4th International Domitool conference, Paris, France, 15-19. December 1996.

ルムアーカイブ「アルシーブ・デュ・フィルム」が、ウィル・デイ(Will Day)によって収集された腐食の進んだフィルムから、草創期の前例のない映画コレクションを救ったことも見逃せないだろう⁹。こうした周辺環境の充実もあり、次々と若手研究者による歴史的な刷新が行われている。とりわけ、フランス語圏で刊行されている映画雑誌『1895』には、理論へのいたずらな耽溺や、義務づけられた引用からも自由な、分野横断的なアプローチに開かれた研究が数多くみられる¹⁰。本論文もまた、エイベルの著作から多くを学ぶとともに、『テオレマ』誌第4号(1996)に登場する新しい世代のフランス人研究者から刺激を受け、映画学と音楽学の境界を横断するような、分野横断的なアプローチを採用している。

それでは最後に、のちの議論の見通しを良くするため、エイベルが前掲書『初期フランス映画、町を行く—フランス映画1896-1914年』で図式化した初期映画像に触れておこう。映画史の最初の20年間、すなわち、「アトラクションの映画」(スペクタクル的要素、ならびに顕示的な要素の強い初期映画)から、「物語映画」への移行にある種のパラダイム転換を認めるとき、あるいは、フランス映画がこの転換に決定的な役割を果たしたことを認めるとき、「アトラクションの映画」は、最初の10年間、すなわち1896-1904年に優勢であった。そして映画史の次の10年間、すなわち、初期映画が「物語映画」へといたる道のりは、以下の3つの段階を経たという¹¹。

- ① 1904-1907年：パテ社がフィクションとしての映画の製作において第一線に躍り出て、1リール(1缶もの)で構成される短編映画製作のモデルを打ち立てた。
- ② 1907-1911年：アメリカやフランスで、多様な映画ジャンルのヴァリエーションを伴いながら、上記のモデルが強固になり、世界市場でのパテ社のヘゲモニーが確立された。こうした映画の制度化には、ヨーロッパと北米における映画常設館の建設ラッシュが伴っていた。
- ③ 1911-1914年：映画のショット編集のアメリカ・モデルが登場した(「モンタージュ」の精緻化が進んだ)。それと並行して、1リールのフィクション映画の支配が、複数リールの映画、すなわち長編映画に急速に取って代わられた。

このような図式は、目的論的な図式主義としてそれ自身が批判の対象にもなるだろうが、にもかかわらず初期映画の変容について、多くの問題点を浮き彫りにしてくれている。つまり、アトラクションの映画と物語映画の間には、いかなる継承と断絶の関係があるのか。あるいはスペクタクル的要素ないし顕示的な要素と、物語的な要素とのあいだには、いかなる相互関係があるのか。そして、どのように物語映画は変化し、その演出やフレーミングの分節化において、何が最初の要因であったのか、等々。このような複雑な表象システムの具体的な形成プロセスについては、エイベルの大著『初期フランス映画、町を行く—フランス映画1896-1914年』に譲るが、本論文ではこの

⁹ その研究成果は、以下に収録されている。Michelle Aubert, Laurent Mannoni, et David Robinson eds., “The Will Day Historical Collection of Cinematograph and Moving Picture Equipment”, dans *1895*, n. hors-série, octobre 1997. 東京国立近代美術館フィルムセンターが所蔵する「小宮コレクション」もまた、このウィル・デイコレクションに匹敵する無声映画コレクションである。小宮富美次郎(1897-1975)は、生前「床しき影の会」というシネクラブを主宰していた人物で、パテ社と関わりの深いフィルム・ダールやスカグルのような「芸術の薫り高い映画」のみならず、フランス製の初期喜劇映画を積極的に収集していた。当時の日本では、外国製の映画を見ることが高級な趣味を持ち合わせていることを意味したが、同コレクションはその裏付けとなっている。

¹⁰ イタリアとドイツには、無声映画に焦点を当てた二つの素晴らしい映画雑誌『Griffithiana』(伊)と『Kintop』(独)が存在している(英語圏には、『Film History』がある)。残念ながら、無声映画に特化したフランス語圏の映画雑誌は存在しない。

¹¹ Richard Abel, Preface. *The Ciné Goes to Town: French Cinema, 1896-1914*. Updated and Expanded Ed. Berkeley: University of California Press, 1998: xiv-xv.

1904-1914年という、初期の「物語映画」の表象システムが形成された時期において、音楽伴奏のような補足的要素が、どのような機能を果たしていたのかについて、考察している。それでは次節では、無声映画研究における「音研究」(Silent Film Sound Studies)の学術的意義について述べていこう。

第2節 音研究の批判的再検討

初期映画史の記述において見過ごされがちなのは、無声映画に伴う音の存在である。無声映画の音には、楽士の奏でる伴奏音楽や映画説明者の口上のみならず、効果音、観客を惹き付けるための劇場外の宣伝音、オペラ歌手や観客の歌声、観客による拍手やかけ声など、さまざまな「音」が存在する。にもかかわらず、映画学が「音」を本格的な研究対象として認めたのは、ごく最近のことである。

映画学における音研究は、映画学者リック・アルトマン(Rick Altman)が編集した論文集『映画／音』(Yale French Studies, 1980)を嚆矢とする¹²。このパイオニア的役割を果たした論集に引き続き、リズ・ワイズ(Liz Weis)が編集した論文集『映画の音』(Columbia, 1985)が刊行される。これら二冊は、映画と音に関する理論的、歴史的、音楽的考察のみならず、作品分析をも含めた目配りの利いた編集がなされているものの、そこで大きく取り上げられたのは、ルネ・クレールのような音響のパイオニアによる画期的成功や、アルフレッド・ヒッチコックのような変革者による音響スタイルや、ジャン・リュック・ゴダールなど少数の映画作家による独創的な映画音楽であったため、無声映画期の日常的なサウンド・プラクティス(音響実践)が過小評価されるという課題が残った。その後、リック・アルトマンの大著『無声映画の音』(*Silent Film Sound*, Columbia, 2004)が刊行され、アメリカの音研究については一定の成果を収めつつあるが、アメリカ映画が制度化される以前に世界の映画市場を席卷していたフランス・パテ社のフィルムを受容した国々のサウンド・プラクティスに関する研究はいまだ手つかずのままである。

こうした課題を克服すべく、本論文では、無声映画期に発行された重要な映画雑誌が誌名に「蓄音機」の名を冠していることに着目し(仏：*Phono-Ciné-Gazette*[1905-8]、伊：*Cine-Phono*[1907-1911]、露：*Сине-Фоно*[1907-1914])、蓄音機が映画興行の場でどのように使用されていたのか、あるいは無声映画伴奏がどのように行われていたのかについて精査することで、仏(第I部)、露(第II部)、日(第III部)における無声映画期の映画伴奏の地域性ととともに、その世界的傾向について検討を行った。

¹² 映画学における音研究の基本文献を時系列にそって挙げておく。①Rick Altman ed., *Cinema/Sound*, Yale French Studies 60, 1980. ②Liz(Elisabeth) Weis and John Belton ed., *Film Sound*, New York: Columbia University Press, 1985. ③Rick Altman, ed., *Sound Theory/Sound Practice*. New York: Routledge, 1992. ④イタリアのケース。“L’immagine acustica II”, in *Cinegrafie* n.6, Bologna CIneteca del Comune di Bologna, novembre 1993. ⑤Christian Belaygue et Emmanuelle Toulet. *Musique d’écran. L’accompagnement musical du cinéma muet en France 1918-1995*, Paris, Réunion des Musées Nationaux, 1994. ⑥Rick Altman, “The Silence of the Silents,” in *The Musical Quarterly* 80, no.4, winter 1996. ⑦ドイツのケース。Katja Uhlenbrok, dir., *Musik, Spektakel, Film, Musiktheater und Tanzkultur im deutschen Film 1922-1937*, Munich, Editions text+kritik, 1998. ⑧ Rick Altman, “Sound Studies: A Field Whose Time Has Come,” dans “The State of Sound Studies, Le son au cinéma, état de la recherche,” dans *Iris* 27, Spring 1999: 3-4. ⑨ “Global Experiments in Early Synchronous Sound *Film History*”, in *Film History*, vol.11. 1999. ⑩ Richard Abel and Rick Altman, eds., *The Sounds of Early Cinema*. Indiana university press, 2001. ⑪François Albera et Giusy Pisano, dir., «Musique!» dans *1895*, Revue de l’Association française recherche sur l’histoire du cinéma n.38, octobre 2002. ⑫ Giusy Pisano, *Une archéologie du cinéma sonore*, Paris, CNRS, 2004. ⑬Andre Gaudreault, Catherine Russell et Pierre Véronneau, dir., *Le Cinématographe, nouvelle technologie du XXe siècle*, Lausanne, Payot, 2004. ⑭Rick Altman, *Silent Film Sound*. New York: Columbia University Press, 2004. ⑮Giusy Pisano et Valérie Pozner, dir., *Le Muet à la parole, Cinéma et performance à l’aube du XXe siècle*, Paris AFRHC, 2005. ⑯ Martin Barnier, *Briuits, cris, musiques de films: Les projections avant 1914*, Presses Universitaires de Rennes, 2010.

第Ⅰ部「フランスにおける無声映画の音」、第1章では、フランス・パテ社の蓄音機部門に着目することで、同社が映画伴奏音楽を重視した映画史的背景を明らかにするとともに、当時、映像と音の同期化に対する欲望が映画雑誌の中で絶えず議論されていたことや、著作権を巡る争いがあったことなど、初期フランス映画の伴奏音楽を巡る様々な問題の所在を明らかにしている。続く第Ⅰ部、第2章では、サウンド映画の源流にあたるフランス・パテ社と「蓄音機」との関係に改めて立ち返ることで、「蓄音機」の音がパテ社の安定期(1904-7)に製作された「蓄音機=映画」や、危機の時代(1908)に製作された「芸術映画」(Film d'Art)に織り込まれてゆく映画史的な背景について明らかにしている。

第Ⅱ部「帝政期ロシアにおける無声映画の音」、第3章では、第Ⅰ部の基礎的な研究を踏まえ、フランス・パテ社の「芸術映画」を受容していた帝政期ロシアにおいて、ロシア人自身による「芸術映画」製作の過程では、同国の口承文化に由来する『ステンカ・ラージン』(1908)がその題材として選ばれ、音楽伴奏付きの映画として公開されていたことを明らかにした。こうした事実は、「蓄音機の音」を織り込んでいたパテ社の芸術映画の、帝政ロシアへの波及効果と見ることができるだろう。続く第Ⅱ部、第4章では、帝政期ロシアにおいて発行された『シネ・フォノ *Сине-Фоно*』(1907-18)、『キネ・ジュルナル *Кине-Журнал*』(1910-17)、『シネマ・パテ *Синема-Пате*』(1910-14)、『キネモ *Кинемо*』(1910-11)などの蓄音機・映画雑誌を横断的にひもときながら、革命前のロシアにおいて初期フランスの喜劇映画が音と共に受容されていたことを指摘した上で、そうした事実が、ソビエト映画の出発点においても、重要なモメントとなっていたことを明らかにしている。事実、初期フランス喜劇映画に親しんでいたセルゲイ・ユトケヴィチをはじめとするソビエトのアヴァンギャルド映画作家らは、価値転覆的な革命の映画の文法をナンセンスな初期フランス喜劇映画から吸収していたのである。

第Ⅲ部「日本における無声映画の音」第5章では、日本映画史の端緒を開いた吉澤商店による蓄音機の広告宣伝の実態から説き起こし、フレーム内に現れる被写体の身振りに「蓄音機の音」を同期させた最初期の試みであるエジソン社の「キネトフォン」や、「蓄音機の音」が視覚的かつ主題的に織り込まれていたパテ社の「芸術映画(フィルム・ダール [Film d'Art])」の受容の問題について論じている。続く第Ⅲ部第6章では、初期フランス映画の受容という問題を離れ、『キネマ旬報』と『国際映画新聞』誌上で取り上げられた、エルノ・ラペーの『映画伴奏事典』を手がかりに、日本の無声映画期におけるサウンド・プラクティスの歴史的変遷をたどりつつ、そこに映画というミディアムを媒介とした映画関係者たちの欲望の変遷をみてゆく。すなわちラペーの『映画伴奏事典』やベイノンの『映画音楽のプレゼンテーション』の普及によって、感情を図式的に分類してそれに見合った音楽のリストを準備することで映画伴奏を簡素化してゆく一方で、日本映画の伴奏に際して、折衷的な和洋合奏から、和楽器を軸とした「日本的な」音響実践への転換が説かれ、そうした「新しい」映画音楽が、P・C・L発足以降の映画音楽において具現化されていったプロセスを明らかにしている。

最後に補論として、日本における交響楽運動の先駆者たる山田耕筰の経歴を映画史的にたどりなおすと共に、無声映画期の映画伴奏やソビエトの映画理論を通じて獲得された映画音楽に対する山田の理想と、日独合作映画『新しき土』(1937年)の製作過程で山田が直面した現実との軋轢を検討することを通じて、日本映画史において山田耕筰が果たした役割について明らかにした。その調査過程で明らかになったことは、時に批判にさらされた『新しき土』(ファンク版)の映画音楽のある部分が、山田の意

図した映画音楽とは異なり、ファンクの指示の下につけられたものであったという事実である。無声映画の音とナショナルなものとの結びつきは、無声映画期のみならず、トーキー以後においてもなお引き続いて見られたことの例証となっている。以上を踏まえつつ、フランス・パテ社の蓄音機部門について論じた第1章から、具体的な議論をはじめたい。

以下、論文の要旨を参照されたい。

本論文は、仏・露・日の無声映画興行において「音」が果たしていた役割を比較映画史的に考察することにより、初期フランス映画の受容がもたらした日露両国の初期映画の変容過程において「音」が果たしていた役割を実証的に解明した論文である。具体的には、無声映画期に発行された重要な映画雑誌が誌名に「蓄音機」の名を冠していたことに着目し(仏:*Phono-Ciné-Gazette*[1905-8]、露:*СИНЕ-ФОНО*[1907-1914])、蓄音機が映画興行の場でどのように使用されていたのか、あるいは無声映画伴奏がどのように行われていたのかについて、全3部6章構成で考察することにより、仏(第I部)、露(第II部)、日(第III部)の無声映画興行における「音」の地域性ととともに、「音」と結びついたフランス製の「芸術映画」(Film d'Art)の受容が日露両国の初期映画の革新へと波及する世界的傾向がみられたことを明らかにした。

第I部「フランスにおける無声映画の音」の第1章では、フランス・パテ社が映画会社となる以前から経営していた蓄音機部門に着目することで、同社が無声映画伴奏音楽を重視した映画史的背景を明らかにするとともに、第一次世界大戦以前の映画雑誌の中で、映像と音の同期化をめぐる議論がくり返し交わされていたことや、著作権を巡る争いさえ見られたことなど、初期フランス映画の技術的な制度化をめぐる様々な問題の所在を明らかにした。次に第I部の第2章では、サウンド映画の源流に位置づけられるフランス・パテ社と「蓄音機」の関係に改めて立ち返ることで、蓄音機の音が、1904-7年頃のパテ社の安定期に製作された映画ジャンルの一つ「蓄音機=映画(Ciné-Phonographique)」(蓄音機シリンダーに録音されたフランスの国民的歌手の歌声と歌手の身振りを同期させた映画)や、1908年頃の危機の時代に製作された「芸術映画」に織り込まれてゆく映画史的な背景について明らかにした。具体的には、フランス・パテ社の現存資料を収蔵するアーカイブ、パテ・ジェローム・セイドゥにおいて、これまで未使用にとどまっていた、パテ社とフィルム・ダール社との間で1908年に取り交わされた契約書を調査し、その中に「芸術映画」に「蓄音機=映画」を組み込むことを推奨する条項が含まれていたことを明らかにした。すなわち、同社の芸術映画にしばしば音を想起させる場面が含まれているのは、パテ社の操業以来の事業形態から見て、およそ納得のゆくものなのである。

第II部「帝政期ロシアにおける無声映画の音」の第3章では、第I部の基礎的な研究を踏まえ、フランス・パテ社の「芸術映画」を受容していた帝政期ロシアにおいて、ロシア人自身による「芸術映画」製作の過程では、同国の口承文化に由来する『ステンカ・ラージン』(1908)がその題材として選ばれ、音楽伴奏付きの映画として公開されていたことを明らかにした。こうした事実は、「蓄音機の音」を織り込んでいたパテ社の芸術映画の、帝政ロシアへの波及効果と見ることができるだろう。続く第II部の第4章では、帝政期ロシアにおいて発行された『シネ・フォノ *Сине-Фоно*』(1907-18)、『キネ・ジュルナル *Кине-Журналь*』(1910-17)、『シネマ・パテ *Синема-Пате*』(1910-14)、『キネモ *Кинемо*』(1910-11)といった蓄音機・映画雑誌を横断的にひもときながら、革命前のロシアにおいて初期フランスの喜劇映画が賑やかな音と共に受容

されていたことを指摘した上で、そうした事実が、ソビエト映画の出発点においても、重要なモメントとなっていたことを明らかにした。じっさい、初期フランス喜劇映画に親しんでいたセルゲイ・ユトケヴィチをはじめとするソビエトのアヴァンギャルド映画作家らは、価値転覆的な革命の映画の文法をナンセンスな初期フランス喜劇映画から吸収していたのである。

第Ⅲ部「日本における無声映画の音」の第5章では、日本映画史の端緒を開いた吉澤商店による蓄音機の広告宣伝の実態から説き起こし、フレーム内に現れる被写体の身振りに「蓄音機の音」を同期させた最初期の試みであるエジソン社の「キネトフォン」や、パテ社の「芸術映画」の受容の問題について論じた。パテ社の芸術映画は当時の日本では「文芸映画」として受容され、日本映画革新のモデルとして機能していた。さらに「文芸映画」は比較的大所帯の楽士を抱えた錦輝館や電気館や帝国館などの活動写真館や、より大規模なオーケストラを抱えた帝国劇場の舞台に上がっていた。すなわち、西洋映画を上映する映画館や帝国劇場のような高級劇場を訪れることは、日本人にとって西洋音楽を経験する絶好の機会だったのだ。続く第Ⅲ部の第6章では、初期フランス映画の受容という問題を離れ、『キネマ旬報』と『国際映画新聞』誌上で一部が訳出された、エルノ・ラペーの『映画伴奏事典』を手がかりに、日本の無声映画期における音響実践の歴史的変遷をたどりつつ、そこに映画音楽をめぐる映画関係者たちの欲望の変遷を見た。すなわちラペーの『映画伴奏事典』やベイノンの『映画音楽のプレゼンテーション』の普及によって、感情を図式的に分類してそれに見合った音楽のリストを準備することで映画伴奏を簡素化してゆく一方で、日本映画の伴奏に際して、折衷的な和洋合奏から、和楽器を軸とした「日本的な」音響実践への転換が説かれ、そうした「新しい」映画音楽が、P・C・L発足以降の映画音楽において具現化されてゆくプロセスを明らかにした。

最後に補論として、日本における交響楽運動の先駆者たる山田耕筰の経歴を映画史的にたどりなおすと共に、無声映画期に行っていた映画伴奏やソビエトの映画理論を通じて獲得された映画音楽に対する山田の理想と、日独合作映画『新しき土』（1937年）の製作過程で山田が直面した現実との軋轢を検討することを通じて、以下の事を明らかにした。すなわち、無声映画の音は、当初はローカルな音文化との結びつきを深め、一旦はオペラを理想的なモデルとするインターナショナルな音文化へと接近するが、初期トーキーの音は、再びナショナルな音文化との関係を深めたのである。

主要参考文献

- 阿部浩二編著『音楽・映像著作権の研究』学際図書出版、1998年。
- アントワーヌ・ド・ベック「スクリーン—映画における身体」『身体の歴史Ⅲ 20世紀 まなざしの変容』A・コルバン・J・J・クルティエヌ・G・ヴィガレロ編、下澤和義訳、藤原書店、2010年。
- ウィルフォード、ウィリアム『道化と笏杖』高山宏訳、晶文社、1983年。
- ヴェルトフ、ジガ「われわれは(マニフェスト案)」『ロシア・アヴァンギャルド 3 キノ—映像言語の創造』大石雅彦訳、国書刊行会、1994年、122-126頁。
- 「「キノグラス」各班に体する暫定的戦闘用務令」『ロシア・アヴァンギャルド 3 キノ—映像言語の創造』松原明訳、国書刊行会、1994年、136-150頁。
- エイゼンシュテイン、セルゲイ『自伝のための回想録』『エイゼンシュテイン全集 第1巻』久米雅子・野原まち子・羽根田恵子他訳、キネマ旬報、1973年。
- 「無関心な自然でなく」『エイゼンシュテイン全集 第9巻』田中ひろし訳、キネマ旬報社、1993年、9-188頁。
- 大森盛太郎『日本の洋楽1』新門出版社、1986年。
- 掛下慶吉『トオキイ音楽の理論と実践』赤塚書房、1938年。
- 掛下慶吉『昭和楽壇の黎明—楽壇生活四十年の回想』音楽之友社、1973年。
- 加藤幹郎『映画ジャンル論—ハリウwoods的快樂のスタイル』平凡社、1996年。
- 『映画館と観客の文化史』中公新書、2006年。
- 亀山郁夫「衝突とカーニバル—エイゼンシュテインにおける革命と権力の表象」『磔のロシア』、岩波書店、2002年、251-318頁。
- 小松弘「喜劇映画のシネマティック」『喜劇の王様—SLAPSTICK』青土社、1986年、184-195頁。
- サドゥール、ジョルジュ『世界映画史 2 初期の見世物 1895-1897』村山匡一郎、出口丈人、小松弘訳、国書刊行会、1993年。
- 『世界映画史 3 映画の先駆者たち メリエスの時代 1897-1902』村山匡一郎、出口丈人、小松弘訳、国書刊行会、1994年。
- 『世界映画史 4 映画の先駆者たち パテの時代 1903-1909』村山匡一郎、出口丈人、小松弘訳、国書刊行会、1995年。
- シオン、ミシェル『映画にとって音とはにか』川竹英克、J・ピノン訳、勁草書房、1993年。
- 『映画の音楽』伊藤制子／二本木かおり訳、みすず書房、2002年。
- ストリブラス、ピーター、アロン・ホワイト『境界侵犯—その詩学と政治学』本橋哲也訳、ありな書房、1995年。
- 三浦玄樹著、マック杉崎監修『図説 世界の蓄音機』星雲社、1996年。
- 高山宏「スラップスティック・シックスティ—トランスパーソナル心理学と」『喜劇の王様—SLAPSTICK』青土社、1986年、196-215頁。
- 塚原康子『十九世紀の日本における西洋音楽の受容』多賀出版、1993年。
- 中村洪介著、林淑姫監修『近代日本洋楽史序説』東京書籍、2003年。
- 中村理平『洋楽導入者の軌跡—日本近代洋楽史序説』刀水書房、1993年。
- バフチン、ミハイル『フランソワ・ラブレーの作品と中世・ルネサンスの民衆文化』川端香男里訳、せりか書房、1973年。
- バブコック、B・A・編『さかさまの世界』岩崎宗治、井上兼行訳、岩波書店、1984

年。

- 樋口泰人『映画は爆音とともにささやく 99-09』boid、2010年。
ミック、コンスタン『コメディ・デラルテ』梁木靖訳、未来社、1987年。
山口昌男「道化と詩的言語」『道化的世界』ちくま文庫、1986年、24-59頁。
吉田智恵男『もう一つの映画史 活弁の時代』時事通信社、1978年。
四方田犬彦『日本映画史 100年』集英社新書、2000年。
四方田犬彦『日本の女優』岩波書店、2000年。

- Abel, Richard. *The Ciné Goes to Town: French Cinema, 1896-1914*. Berkeley: University of California Press, 1994; updated and expanded, 1998.
- . "In the belly of the beast: The early years of Pathé-Frères," in *Film History*, vol. 5, 1993: 363-385.
- . *The Red Rooster Scare: Making Cinema American, 1900-1910*. Berkeley: University of California Press, 1999.
- . "Redifining the Vaudeville/Moving Pictures Debate with Illustrated Songs," in Quresima, Leonard and Laura Vichi, eds., *The Tenth Muse*. Udine, Italy: Forum, 2001: 473-84.
- . "That Most American of Attractions, the Illustrated Song," in Abel and Altman, eds., *The Sounds of Early Cinema*, Bloomington: Indiana University Press, 2001: 143-55.
- . and Rick Altman, eds. "Global Experiments in Early Synchronous Sound," in Special issue of *Film History* vol.11, no.4, 1999.
- . eds. *The Sound of Early Cinema*. Bloomington: Indiana University Press, 2001.
- Albera, François. "«L'école comique française», une avant-garde posthume?" dans Guido, Laurent et Laurent le Foresier dir., "Les comiques française des premiers temps: Aux sources du burlesque cinématographique", dans *1895* numéro 61, septembre, AFRHC, 2010: 77-114.
- Allen, Jeanne Thomas. "Copyright and Early Theater, Vaudeville, and Film Competition," in Fell, John L., ed. *Film Before Griffith*. Berkeley: University of California Press, 1983: 176-87.
- Allen, Robert. *Vaudeville and Film, 1895-1915*, Ph.D. diss., University of Iowa, 1977.
- Alovisio, Silvio. "Naissance d'une notion. La première réception du film d'art français en Italie," dans *1895*, numéro 56, décembre, AFRHC, 2008: 205-223.
- Altman, Rick. "cue sheets," in Abel, Richard. ed., *Encyclopedia of early cinema*. London: Routledge, 2005: 160-161.
- . "Cinema and Popular Song: The Lost Tradition," in Wojcik, Pamela and Arthur Knight, eds., *Soundtrack available: Essays on film and Popular music*, Durham, N.C: Duke University Press, 2001: 19-30.
- . *Film/Genre*. London: British Film Institute, 1999.
- . "Film Sound: All of it," in *Iris* 27, spring, 1999: 31-48.
- . "The Living Nickelodeon," in Abel and Altman, eds., *The Sounds of Early Cinema*, 232-40.
- . "Moving Lips: Cinema as Ventriloquism," in *Yale French Studies* 60, 1980:

67-79.

- . "Naissance de la réception classique: La campagne pour standardiser le son," dans *Cinémathèque*, vol. 1, no.6, 1994: 98-111.
- . "Penser l'histoire(du cinéma) autrement: Un modèle de crise," dans *Vingtième siècle* 46, 1995: 65-74.
- . "Reading Positions, the Cow Bell Effect, and the Sounds of Silent Cinema," dans *CiNéMAS* volume 2 numéro 2-3, printemps 1992, 19-31.
- . "The Silence of the Silents," in *Musical Quarterly* 80.4, winter, 1996: 648-718.
- . *Silent Film Sound*. New York: Columbia University Press, 2004.
- . *Sound Theory/Sound Practice*. New York: Routledge/American Film Institute, 1992.
- . "Toward a Theory of the History of Representational Technologies," in *Iris* 2.2, 1984: 111-25.
- Anderson, Gillian B. *Music for Silent Films, 1894-1929*. Washington, D.C.: Library of Congress, 1988.
- Anderson, Tim. "Reforming 'Jackass Music': The Ploblematic Aesthetics of Early American Film Music Accompaniment," in *Cinema Journal* 37.1, fall 1977: 3-22.
- Avron, Dominique. "Remarques sur le travail du son dans la production cinématographique standerdisée," dans *Cinéma: Théorie, Lectures*. Paris: Klincksieck, 1973: 207-218.
- Bachman, Gregg. "Still in the Dark: Silent Film Audiences," in *Film History* 9.1, 1997: 23-48.
- Bazelon, Irwin. *Knowing the Score: Notes on Film Music*. New York: Arco, 1975.
- Berg, Charles Merrell. "An Investigtions of the Motives for and Realization of Music to Accompany the American Silent Film, 1896-1927," in Ph.D. diss., University of Iowa, 1973.
- . "The Human Voice and the Silent Cinema," in *Journal of Popular Film*, Vol. IV, No 2, Bowling Green, 1975: 165-177.
- Barnier, Martin. *Bruits, cris, musiques de films: Les projections avant 1914*, Presses Universitaires de Rennes, 2010.
- Bergh, Nancy and Margaret L. "The Live Model Illustrated Song American Style," in *New Magic Lantern Journal* 2.3, January, 1983: 2-8.
- Beynon, George. *Musical Presentation of Motion Pictures*. New York: Schirmer, 1921.
- Borch, Gaston. *Practical Manual of Instrumentation*. Boston: Boston Music, 1918.
- Bordwell, David, Janet Staiger, and Kristin Thompson. *The Classical Hollywood Cinema: Film Style and Mode of Production to 1960*. New York: Columbia University Press, 1985.
- Borneman, Ernest, "Sound Rhythm and the Film," in *Sight and Sound* 3, 10, Summer 1934: 65-67.
- Bottomore, Stephen. "An International survey of Sound Effects in Early Cinema," in Abel, Richard and Rick Altman, eds. "Global Experiments in Early Synchronous Sound," in Special issue of *Film History* vol.11, no.4, 1999: 485-498.
- . "The Story of Percy Peachaker: Debates about Sound Effects in the Early

- Cinema,” in Abel and Altman, eds., *The Sounds of Early Cinema*, 129-42.
- Bousquet, Anri. dir., *Catalogue Pathé des années 1896 à 1914*. Édition Henri Bousquet, 1993-1996.
- Bowers, Q. David. *Encyclopedia of Automatic Musical Instruments*. Vestal, N.Y.: Vestal Press, 1972.
- . *Nickelodeon Theatres and Their Music*. Vestal, N.Y.: Vestal Press, 1986.
- Bowser, Eileen. *The Transformation of Cinema, 1907-1915*. New York: Scribner's, 1990.
- . *The Slapstick Symposium*. Brussels: Fédération Internationale des Archive du Film, 1988.
- Breil, Joseph Carl. *Dramatic Music for Motion Picture Plays*. New York: Chappell, 1917.
- Brown, Royal S. *Overtones and Undertones: Reading Film Music*. Berkeley: University of California Press, 1994.
- Burch, Noël. *Life to those Shadows*. Berkeley: University of California Press, 1990.
- . “Un mode de représentation primitif?” in *Iris* 2.1, 1984: 112-23.
- Cabine, Mary. “ ‘The Finest Outside the Loop’: Motion Picture Exhibition in Chicago’s Black Metropolis, 1905-1928,” in *Camera Obscura* 23, 1990: 9-42.
- Canudo, Ricciotto. *L’Usine aux Images*, édition intégrale établie par Jean-Paul Morel, Paris, Séguier/Arte, 1995.
- Cavalcanti, Alberto. “Sound in Films,” in Weis, Elisabeth and John Belton. *Film Sound: Theory and Practice*. New York: Columbia University Press, 1985: 98-111.
- Coissac, G.M. *Histoire du cinématographe: de ses origines à nos jours*. Paris : Editions du "Cineopse" : Librairie Gauthier-Villars, 1925.
- . *Manuel pratique du conférencier-projectionniste*, Paris, La Bonne Presse, 1908.
- Culver, Max C. *A History of Theatre Sound Effects Devices to 1927*. Ph.D.diss., University of Illinois, 1981.
- Delluc, Louis. *Cinéma et Cie: Confidences d’un Spectateur*. Paris: Bernard Grasset, 1919.
- . *Photogénie*. Paris: de Brunoff, 1920.
- . *Charlot*. Paris: de Brunoff, 1921.
- Deslandes, Jacques, et Jacques Richard, *Histoire comparée du cinéma II*, Paris, Casterman, 1968.
- Dickson, W.K.L. and Antonia Dickson. *History of Kinetograph, Kinetoscope, and Kinetophonograph*. New York: Crowell, 1895; rpt., New York: Arno, 1970.
- Dreux, Emmanuel. *Le Cinéma burlesque, ou la subversion par le geste*, Paris, L’Harmattan, coll. Esthétiques, 2007.
- Duncan, Dean W. *Charms that soothe: classical music and the narrative film*. Fordham University Press, 2003.
- Dupré la Tour, Claire. “Intertitres et cinéma muet: Essai de bibliographie,” in Pitassio, Francesco e Leonardo Quaresima eds., *Scrittura e imagine: La didascalìa nel cinema muto*, *Atti del IV Convegno internazionale di studi sul*

- cinema, Udine: 20-22 marzo 1997: 441-55.*
- Dym, Jeffrey A. *Benshi, Japanese silent film narrators, and their forgotten narrative art of Setsumei: A History of Japanese Silent Film Narration*, The Edwin Mellen Press, 2003.
- Эйзенштейн, Сергей Михайлович. *Метод. Том 1. Grundproblem. Музей кино, Эйзенштейн-центр, 2002.*
- . *Метод. Том 2. Тайны мастеров. Музей кино, Эйзенштейн-центр, 2002.*
- . *Неравнодушная природа. Том 1. Чувство кино, Эйзенштейн-центр, 2004.*
- . *Неравнодушная природа. Том 2. О строении вещей, Музей кино, 2006.*
- Elsaesser, Thomas. and Adam Barker, eds., *Early Cinema: Space, Frame, Narrative*. London: BFI, 1990.
- Emboden, William A. *Sarah Bernhardt: Artist and Icon*. Irvine, Calif.: Severin Wunderman Museum, 1992.
- Evans, Mark. *Soundtrack: The Music of the Movies*. New York: Hopkinson and Blake, 1975.
- Fell, John L., ed. *Film Before Griffith*. Berkeley: University of California Press, 1983.
- Fielding, Raymond. "Hale's tours: Ultrarealism in the Pre-1910 Motion Picture," in Fell, ed., *Film Before Griffith*, 116-30.
- . "The Technological Antecedents of the Coming of Sound: An Introduction," in E.W.Cameron, ed., *Sound and the Cinema*, Pleasantville, N.Y.: Redgrave, 1980: 2-23.
- Flinn, Caryl. *Strains of Utopia: Gender, Nostalgia, and Hollywood Film Music*. Princeton University Press, 1992. (=鈴木圭介訳『フェミニズムと映画音楽—ジェンダー・ノスタルジア・ユートピア』平凡社、1994年)
- Frelinger, Gregg A. *Motion Picture Piano Music: Descriptive Music to Fit the Action, Character, or Scene of Moving Pictures*. Lafayette, Ind.: Gregg A. Frelinger, 1909.
- Gaudreault, André. "Les vues cinématographiques selon Pathé ou comment la cinématographie embraye sur un nouveau paradigme," in Marie, Michel et Laurent Le Forestier, dir., *La firme Pathé frères 1896-1914*. AFRHC, 2004: 237-246.
- . *Du littéraire au filmique. Système du récit*, Québec/Paris, P.U.L. /Méridiens Klincksieck, 1988.
- . "«Le retour du bonimenteur refoulé... » (où serait-ce le bonisseur-conférencier, le commentateur, le conférencier, le présentateur ou le « speaker »)," dans *Iris* 22, Paris/Iowa City, automne 1996: 17-32.
- . "L'extranéité du cinéma des premiers temps: bilan et perspectives de recherche," dans Jean A. Gili et al. dir., *Les vingt premières années du cinéma français*, Paris, Presses de la Sorbonne Nouvelle/AFRHC, 1995: 15-28.
- . "L'internationalité du cinéma des premiers temps," dans Cosandey, Roland. et François Albera, éd., *Cinéma sans frontières/Images across Borders*, Québec /Lausanne, Nuit Blanche éditeur/Payot Lausanne, 1994: 193-205.
- . "Bruitage, musique et commentaires aux débuts du cinéma", dans *Protée*, Vol. XIII, No 2, 1985, pp. 25-29.

- . et Germain Lacasse, "Le bonimenteur de vues animées", dans *Iris* 22, Paris/Iowa City, automne, 1996.
- . "L'écran ventriloque", dans *24 Images*, no. 65, Montréal, 1993: 41-44.
- . "Fonctions et origines du bonimenteur du cinéma des premiers temps", dans *CiNéMAS*, volume 3, numéro 3, Montréal, 1993: 133-147.
- . et François Jost, *Le récit cinématographique*, Paris, Nathan, 1990.
- . et al., "Des «Films parlant français» en 1913, au Canada Français," dans *1895, Association française de recherche sur l'histoire du cinéma. L'année 1913 en France*, Paris, 1993: 264-272.
- . and Jean Châteauvert, "The Noises of Spectators, or the Spectator as Additive to the Spectacle," in Abel and Altman, eds., *The Sound of Early Cinema*: 183-91.
- Geduld, Harry M. *The Birth of Talkies: From Edison to Jolson*. Bloomington: Indiana University Press, 1975.
- Gili, Jean A. "Olivier Poupion, *Histoire du cinéma à Rouen: Les origines 1892-1919*" Odile Gozillon-Fronsacq, *Cinématographiques, 1896-1939*," dans *1895* 43, juin 2004: 129-132.
- Gorbman, Claudia. *Unheard Melodies: Narrative Film Music*. Bloomington: Indiana University Press, 1987.
- Goldmark, Daniel. *Happy Harmonies: Music and the Hollywood Animated Cartoon*, Ph.D. diss., UCLA, 2001.
- Gordon, Ian. *Comic Strips and Consumer Culture*, Smithsonian, 2002.
- Gordon, Rae Beth. "The Cabaret and the Body Out of Control," in *Why the French Love Jerry Lewis: From Cabaret to Early Cinema*, Stanford, California: Stanford University Press, 2001: 60-112.
- Guido, Laurent. "«Quel théâtre groupera jamais tant d'étoile?» Musique, danse et intégration narrative dans les attractions gestuelles du Film d'Art," dans *1895* numéro 56, décembre 2008: 149-172.
- . "La stratégies des sociétés concessionnaires Pathé et la location des films en France, 1907-1908," dans Marie, Michel et Laurent Le Forestier, dir., *La firme Pathé frères, 1896-1914*. AFRHC, 2004: 21-48.
- . *L'Age du rythme : Cinéma, musicalité et culture du corps dans les théories françaises des années 1910-1930*. Editions Payot Nadir, 2004.
- et Laurent le Foresier dir., "Les comiques française des premiers temps: Aux sources du burlesque cinématographique," dans *1895* numéro 61, septembre, AFRHC, 2010.
- Gunning, Tom. *D.W. Griffith and the Origins of American Narrative Film: The Early Years at Biograph*. Urbana: University of Illinois Press, 1991.
- . "New Threshold of Vision: Instantaneous Photography and the Early Cinema of Lumière," in Terry Smith, ed., *Impossible Presence: Surface and Screen in the Photogenic Era*, Chicago: University of Chicago Press, 2001: 71-100.
- Hansen, Miriam. *Babel and Babylon: Spectatorship in American Silent Film*. Cambridge: Harvard University Press, 1991.
- Hall, Ben M. *The Golden Age of the Movie Palace: The Best Remaining Seats*. New York: Clarkson N. Potter, 1961.
- Hendrykowska, Malgorzata. "From the Phonograph to the Kinetophone." *Film*

- History* 11.4, 1999: 444-48.
- Hofmann, Charles. *Sounds for Silents*. New York : Drama Book Specialists, 1970.
- Humbert, Gilbert. *Musique pour Orchestre chez Pathé*. Fuveau: L'auteur., version provisoire de Juillet 1998.
- Ianguirov, Rachit. "Représentation verbale du film: L'expérience russe des années 1900-1910," dans Pisano, Giusy et Valérie Pozner, dir., *Le Muet a la parole: Cinéma et performances à l'aube du XX siècle*. Paris: AFRHC, 2005: 217-236.
- Kalinak, Kathryn. *Settling the Score: Music and the Classical Hollywood Film*. Madison: University of Wisconsin Press, 1992.
- Keil, Charlie. *Early American Cinema in Transition: Story, Style, and Filmmaking, 1907-1913*. Madison: University of Wisconsin Press, 2001.
- Kepley, Vance Jr., "Film Seance: The Role of Speech in Soviet Film Exhibitions of the 1920s," in *Wide Angle: Sound in Cinema*, vol. 15, no. 1, 1992: 8-27.
- Kesler, Frank et Sabine Lenk, "Cinéma d'attractions et gestualité," dans Gili, Jean A., Michèle Lagny, Michel Marie et Vincent Pinel dir., *Les Vingt premières années du cinéma française*, Paris, Presses de la Sorbonne Nouvelle, 1995: 195-202.
- "Drôle de boxe. Stratégis du rire dans le film comique française au début des années 1910," dans Guido, Laurent et Laurent le Foresier dir., "Les comiques française des premiers temps: Aux sources du burlesque cinématographique," dans *1895* numéro 61, septembre, AFRHC, 2010: 191-204.
- Koszarski, Richard. *An Evening's Entertainment: The Age of the Silent Feature Picture, 1915-1928*. New York: Scribner's, 1990.
- Kraft, James P. *Stage to Studio: Musicians and the Sound Revolution, 1890-1950*. Baltimore: Johns Hopkins University's Press, 1996.
- Lacasse, Germain. "Le cinéma bonimenté comme dispositif de médiation," dans *CiNéMAS*, volume 8, numéro 2, Montréal, automne 1998: 43-62.
- . "Du boniment québécois comme pratique résistante," dans *Iris* 22, Paris, 1996: 53-66.
- . "Palimpseste, trame et traces: tradition orale et notion de genre dans le cinéma des premiers temps," dans *Iris* 20, sur la notion de genre au cinéma, Paris/Iowa City, 1995: 63-75.
- . "De Passions en passions. Le cinéma des débuts au Québec," dans Cosandey et al., éd., *Une invention du diable? Cinéma des premiers temps et religion*, Sainte-Foy /Lausanne, Presses de l'Université Laval/Éditions Payot Lausanne, 1992: 81-87.
- . *Le bonimenteur de vues animées: Le cinéma « muet » entre tradition et modernité*, Québec/Paris, Nota Bene/Méridiens Klincksieck, 2000.
- Lacassin, Fransis. *Pour une contre-histoire du cinéma*, Paris, Union Générale d'éditions, 1972.
- Landon, John W. *Behold the Mighty Wurlitzer: The History of the Theatre Pipe Organ*. Westport, Conn.: Greenwood, 1983.
- Lang, Edith and George West. *Musical Accompaniment of Moving Pictures: A Practical Manual for Pianists and Organists and Exposition of Principles Underlying the Musical Interpretation of Moving Pictures*. Boston: Boston

- Music, 1920.
- Lastra, James. *Sound Technology and the American Cinema: Perception, Representation, Modernity*. New York: Columbia University Press, 2000.
- Leppert, Richard. *The Sight of Sound: Music, Representation, and the History of the Body*. Berkeley: University of California Press, 1993.
- Levine, Lawrence W. *Highbrow/Lowbrow: The Emergence of Cultural Hierarchy in America*. Cambridge: Harvard University Press, 1988.
- Leyda, Jay. *Kino: A History of the Russian and Soviet Film*. London : Allen and Unwin, 1960.
- London, Kurt. *Film Music: A Summary of the Characteristic Features of its History, Aesthetics, Technique; and Possible Developments*. London: Faber and Faber, 1936.(=津川主一訳『映画音楽の美学と科学』楽苑社、1944年)
- Loughney, Patrick G. "In the Beginning Was the Word: Six Pre-Griffith Motion Picture Scenarios," in Elsaesser, ed., *Early Cinema*, 211-19.
- Mannoni, Laurent. *Le grand art de la lumière et de l'ombre: Archéologie du cinéma*. Paris: Nathan, 1994.
- Marie, Michel. et Laurent Le Forestier, dir., *La firme Pathé Frères, 1896-1914*. Paris: AFRHC, 2004.
- Marks, Martin. *Music and the Silent Film: Contexts and Case Studies, 1895-1924*. New York : Oxford University Press, 1996.
- Marty, Daniel. *Histoire illustrée du Phonographe*. Edita Vilo, 1979.
- Mayer, David. "The Music of Melodrama," in Bradby, David., Louis James, and Bernard Sharratt, eds., *Performance and Politics in Popular Drama in Theatre, Film, and Television, 1800-1976*, Cambridge: Cambridge University Press, 1980: 49-63.
- . "Nineteenth Century Theatre Music," in *Theatre Notebook* 30.3, 1976:115-22.
- . "Parlour and Platform Melodrama," in Hays, Michael and Anastasia Nikolopoulou, eds., *Melodrama: The Cultural Emergence of a Genre*, New York: St. Martin's, 1996: 210-34.
- . "Seeing with the Ear," in *Nineteenth-Century Theatre* 25.1, Summer 1997: 66-77.
- Mayer, David and Helen Day-Mayer, "A 'Secondary Action' or Musical Highlight? Melodic Interludes in Early Film Melodrama Reconsidered," in Abel and Altman, eds., *The Sounds of Early Cinema*, 220-31.
- Meusy, Jean-Jacques. *Cinémas de France, 1894-1918*. Paris: Arcadia éditions, 2009.
- . *Paris-Palaces ou le temps des cinémas, 1894-1918*. Une histoire en images, CNRS éditions, Paris, 1995; rpt., CNRS éditions, Paris, 2002.
- . "La stratégie des sociétés concessionnaires Pathé et la location des films en France, 1907-1908," dans Marie, Michel et Laurent Le Forestier dir., *La Firme Pathé Frères 1896-1914*. Paris: AFRHC, 2004: 21-48.
- Musser, Charles. *Before the Nickelodeon: Edwin S. Porter and the Edison Manufacturing Company*. Berkeley: University of California Press, 1991.
- . *Edison Motion Pictures, 1890-1900: An Annotated Filmography*. Washington, D.C.: Smithsonian Institution Press, 1997.

- . and Carol Nelson, *High-Class Moving Pictures. Lyman H. Howe and the Forgotten Era of Travelling Exhibition 1880-1920*, Princeton, Princeton University Press, 1991.
- . *The Emergence of Cinema. The American Screen to 1907*, New York, Charles Scribner's Sons, 1990.
- . "The Nickelodeon Era Begins: Establishing the Framework for Hollywood's Mode of Representation," in Elsaesser, ed., *Early Cinema*, 256-73.
- . ed. *Thomas A. Edison Papers: A Guide to Motion Picture Catalogs by American Producers and Distributors, 1894-1908*. A Microfilm Edition. Frederick, Md.: University Microfilms, 1985.
- Ochse, Orpha Caroline. *The History of the Organ in the U.S.* Bloomington: Indiana University Press, 1975.
- Pasquella, George Donald. "An Investigation in the Use of Sound in American Motion Picture Exhibition, 1908-1919," in Master's thesis, University of Iowa, 1968.
- Paulus, Tom. and Rob King, *Slapstick Comedy*, Routledge, 2010.
- Pearson, Roberta E. *Eloquent Gestures: The Transformation of performance style in the Griffith Biograph Films*, University of California Press, 1992.
- Perriault, Jacques, *Mémoires de l'ombre et du son. Une archéologie de l'audiovisuel*, Paris, Flammarion, 1981.
- Perron, Bernard. "The first Transi-Sounds of Parallel Editing," in Abel and Altman, eds., *The Sounds of Early Cinema*: 79-86.
- Phillips, Ray. *Edison's Kinetoscope and Its Films: A History to 1896*. Westport, Conn.: Greenwood, 1997.
- Pozner, Valérie. "La Ciné-Déclamation en Russie," dans Pisano, Giusy et Valérie Pozner, dir., *Le Muet a la parole: Cinéma et performances à l'aube du XX siècle*. Paris: AFRHC, 2005: 135-163.
- Pratt, George. *Spellbound in Darkness: A History of the Silent Film*, Greenwich, Conn.: New York Graphic Society, 1966; rev. ed., 1973.
- Prendergast, Roy M. *Film Music, A Neglected Art: A Critical Study of Music in Films*. New York: Norton, 1992.
- Rabinovitz, Lauren. "Bells and Whistles': The Sound of Meaning in Train Travel Film Rides," in Abel and Altman, eds., *The Sound of Early Cinema*, 167-80.
- . *For the Love of Pleasure: Women, Movies, and Culture in Turn-of-the-Century Chicago*. New Brunswick: Rutgers University Press, 1998.
- Rapée, Erno. *Encyclopaedia of Music for Pictures*. New York: Belwin, 1925; rpt., New York: Arno, 1970.
- . *Motion Picture Moods for Pianists and Organists: A Rapid-Reference Collection of Selected Pieces*, New York: G. Schirmer, 1924.
- Raynauld, Isabelle. "Le «Sonore visible» dans les scénarios et dans les films Pathé dits «Muet»," dans Marie, Michel et Laurent Le Forestier, dir., *La Firme Pathé Frères 1896-1914*. Paris: AFRHC, 2004: 213-218.
- . "Dialogues in Early Silent Screenplays: What Actors Really Said," in Abel and Altman, eds., *The Sounds of Early Cinema*, 69-78.
- . "Présence, fonction et représentation du son dans les scénarios et les films de

- Méliès : Mise un scène du son,” in Jaques Malthête and Michel Marie, eds., *George Méliès, l'illusioniste fin de siècle ?*, Paris : La Sorbonne Nouvelle/Colloque de Cerisy-la-Salle, 1997 : 201-17.
- . “Les scénarios de la Passion selon Pathé, 1902-1914,” dans Cosandey et al., éd., *Une invention du diable? Cinéma des premiers temps et religion*, Sainte-Foy/Lausanne, Presses de l'Université Laval/Éditions Payot Lausanne, 1992. Bibliographie générale.
- Robinson, David. *Musique et cinéma muet*. Paris : Editions de la Réunion des Musées Nationaux, 1995.
- . *Music of the Shadows: The Use of Musical Accompaniment with Silent Films, 1896-1936*. Supplement to *Griffithiana* 38/39, October, 1990.
- Rogoff, Rosalind. “Edison’s Dream: A Brief History of the Kinetophone,” in *Cinema Journal* 15.2, Spring 1976: 58-66.
- Salmon, Stéphanie. “Le film d’Art et Pathé: une relation éphémère et fondatrice,” *1895* 56, décembre 2008: 69-80.
- Salt, Barry. *Film Style and Technology: History and Analysis*. 2d ed. London: Starword, 1992.
- Sanjek, Russell. *American Popular Music and Its Business: The First Four Hundred Years*. 3 vols. New York: Oxford University Press, 1988.
- . “Photoplay Music: A Reusable Repertory for Silent Film Scoring, 1914-1929,” in *American Music Research Center Journal* 8-9, 1998-99: 55-76.
- Shifrin, Art. “Researching and Restoring Pioneer Talking Pictures: The 70th Anniversary of the Theatrical Release of Kinetophone,” in *Journal of the Society of Motion Picture and Television Engineers*, July 1983: 739-51.
- Singer, Ben. *Melodrama and Modernity: Early Sensational Cinema and Its Contexts*. New York: Columbia University Press, 2001.
- Smith, Mark M. *Listening to Nineteenth-Century America*. Chapel Hill: University of North Carolina Press, 2001.
- Snyder, Frederick E. “American Vaudeville: Theatre in a Package: The Origins of Mass Entertainment,” in Ph.D. diss., Yale University, 1970.
- Sobel, Bernard. *A Pictorial History of Vaudeville*. New York: Citadel, 1961.
- Stokes, Melvyn and Richard Maltby, eds., *American Movie Audiences: From the Turn of the Century to the Early Sound Era*. London: British Film Institute, 1999.
- Thompson, Emily. *The Soundscape of Modernity: Architectural Acoustics and the Culture of Listening in America, 1900-1933*. Cambridge: MIT Press, 2002.
- Tode, Thomas. *Dziga Vertov: The Vertov Collection at the Austrian Film Museum (Filmmuseumsynemapublikationen)*. Austrian Film Museum; Bilingual edition, 2007.
- Tootell, George. *How to play the Cinema Organ*. London : W.Paxton, 1927.
- True, Lyle. *How to Play for Moving Pictures*. San Francisco: Music Supply, 1914.
- Tsivian, Yuri. *Early Cinema in Russia and its cultural reception*. Translated by Alan Bodger with a foreword by Tom Gunning. Edited by Richard Taylor. Chicago and London, The University of Chicago Press, 1994.
- ed. *Lines of Resistance: Dziga Vertov and the Twenties*. Indiana University

- Press, 2005.
- . "Dziga Vertov and his time," in *Lines of Resistance: Dziga Vertov and the Twenties*. Indiana University Press, 2005: 1-29.
- Usai, Paolo Cherchi, Lorenzo Codelli, Carlo Montanaro and David Robinson, eds., with research and coordination by Yuri Tsivian. *Silent Witnesses: Russian Films 1908-1919*. Pordenone, Italy and London, Le Giornate del Cinema Muto, Edizioni Biblioteca dell'Immagine and British Film Institute Publishing, 1989.
- Вертов, Дзига. *Из Наследия. Том 1. Драматургические Опыты*. Издательство: Эйзенштейн-центр, 2004.
- , *Из Наследия. Том 2. Статьи и выступления*. Издательство: Эйзенштейн-центр, 2008.
- Virmaux, Alain et Odette. *Les Surréalistes et le cinéma: Anthologie*, Paris: Ramsay, 1988.
- Walker, Alexander. *The Shattered Silents: How to the Talkies Came to Stay*. New York: Morrow, 1979.
- Waller, Gregory. ed. *Moviegoing in America: A Sourcebook in the History of Film Exhibition*. Malden, Mass.: Blackwell, 2002.
- Weis, Elisabeth and John Belton. *Film Sound: Theory and Practice*. New York: Columbia University Press, 1985.
- Winkler, Max. "The Origin of Film Music," in *Films in Review* 2.34, Dec.1951; reprinted in James L. Limbacher, ed., *Film Music: From Violin to Video*, 16-17. Metuchen N.J.: Scarecrow, 1974.
- Youngblood, Denise J. *The Magic Mirror: Moviemaking in Russia, 1908-1918*. Madison, Wisconsin: the University of Wisconsin Press: 199.

